

# 在宅介護実態調査報告書

## (概要)

令和5年3月  
〈益田市〉

# I. 在宅介護実態調査結果(抜粋)

## 調査概要

### (1) 調査目的

本調査は、高齢者を地域で支え合い、安心して暮らせる体制づくりを進めるために、介護を行っている方(介護者)の実態把握を目的とした「これからの介護保険のためのアンケート」を実施しました。

今回の調査は、国が示した調査項目(設問)で実施し、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」を検討するうえでの基礎資料とします。

### (2) 調査の実施について

対象者	実施期間内に在宅で生活している要介護者 ※医療機関に入院している人、特別養護老人ホーム・老人保健施設・介護療養型医療施設・介護医療院・特定施設・グループホーム・地域密着型特定施設・地域密着型特別養護老人ホームに入所又は入居している人は対象外。
実施期間	令和4年8月～12月
実施方法	認定調査員による聞き取り調査

### (3) 有効回答件数及び回答率

配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
520件	520件	509件	97.9%

### (4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

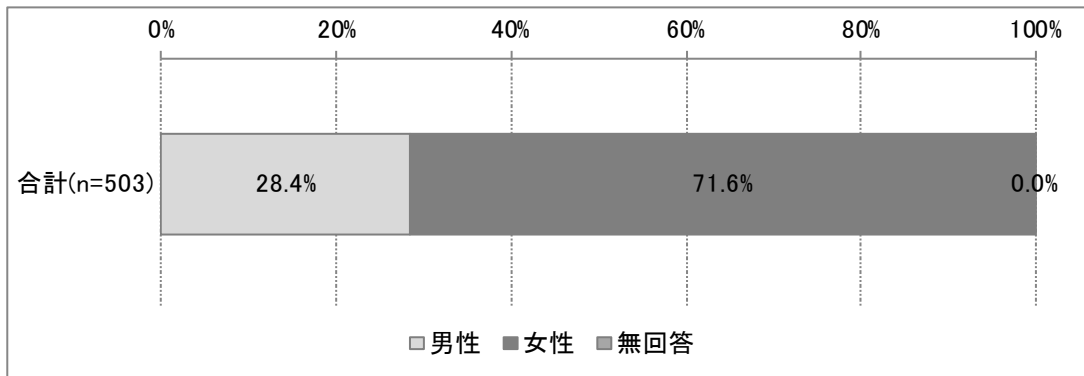
1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。

## 回答者の属性

### (1) 対象者の性別・年齢

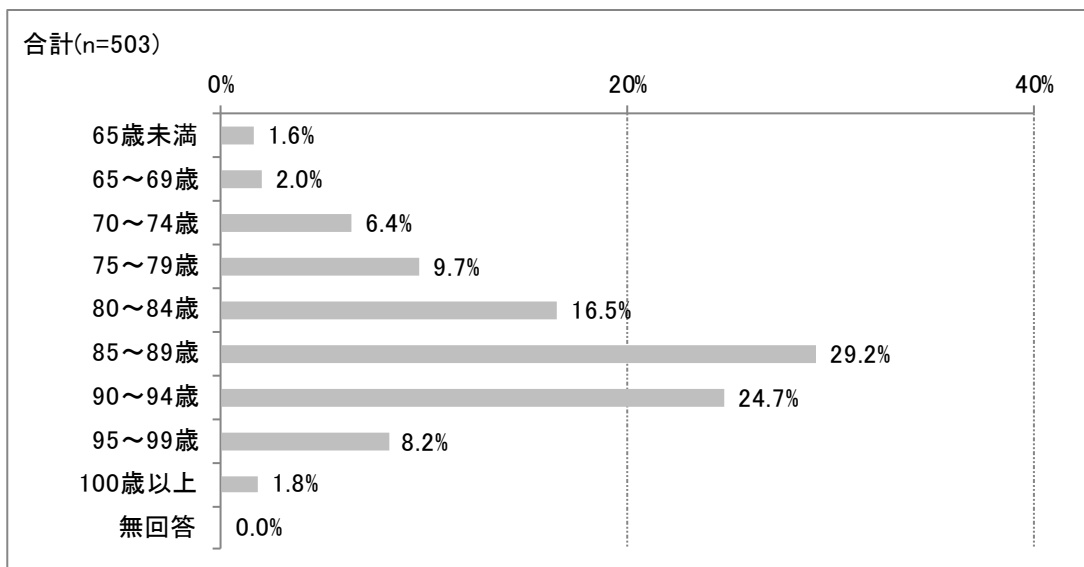
○ 対象者(要介護者)の性別について、「女性」が71.6%、「男性」が28.4%となっています。

【対象者(要介護者)の性別】 単純集計版 図表3-2



○ 対象者(要介護者)の年齢について、「85～89歳」の割合が最も高く29.2%となっています。次いで、「90～94歳(24.7%)」、「80～84歳(16.5%)」となっています。

【対象者(要介護者)の年齢】 単純集計版 図表3-1



## (2) 世帯類型

### 【全体】

- 世帯類型について、「その他」の割合が最も高く 49.7%となっています。次いで、「単身世帯(27.9%)」、「夫婦のみ世帯(21.4%)」となっています。

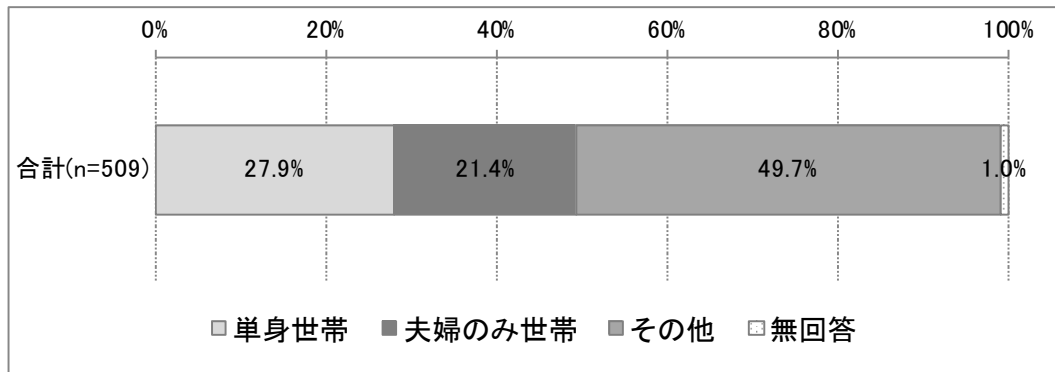
### 【要介護度別】

- 重度化に従って「単身世帯」の割合が低くなっていますが、「夫婦のみ世帯」は「要介護3以上」の割合が最も高くなっています。

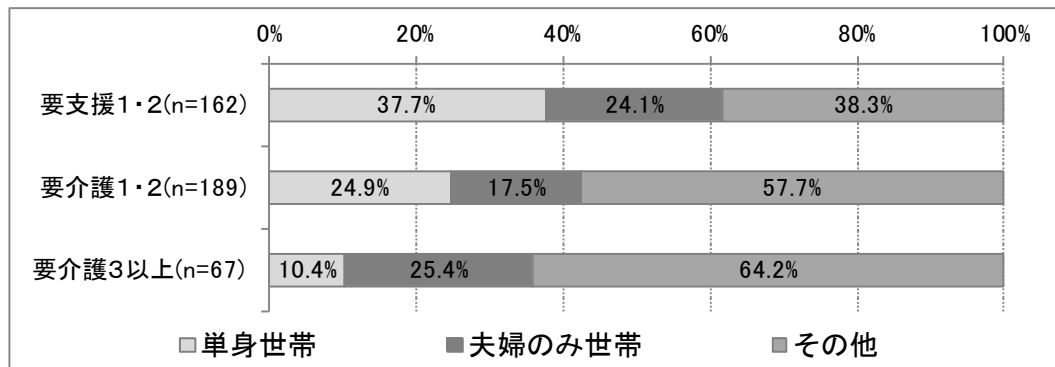
### 【介護者の就労状況別】

- 「フルタイム勤務」では「単身世帯」、「パートタイム勤務」では「その他」、「働いていない」では「夫婦のみ世帯」が他の区分に比べて高くなっています。

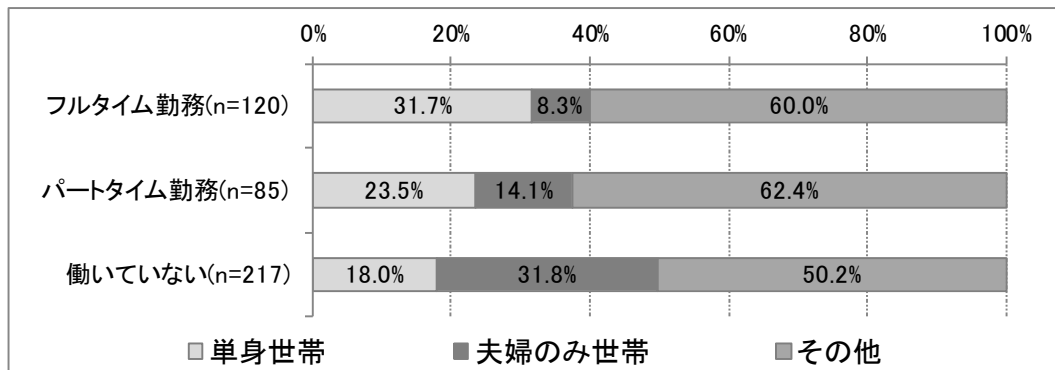
【世帯類型】 単純集計版 図表1-1



【要介護度別・世帯類型】 クロス集計版 図表4-1



【介護者の就労状況別・世帯類型】 クロス集計版 図表2-1



### (3) 要介護度

#### 【全体】

- 「要介護1」の割合が最も高く25.3%となっています。次いで、「要支援1(18.9%)」、「要支援2(18.5%)」となっています。

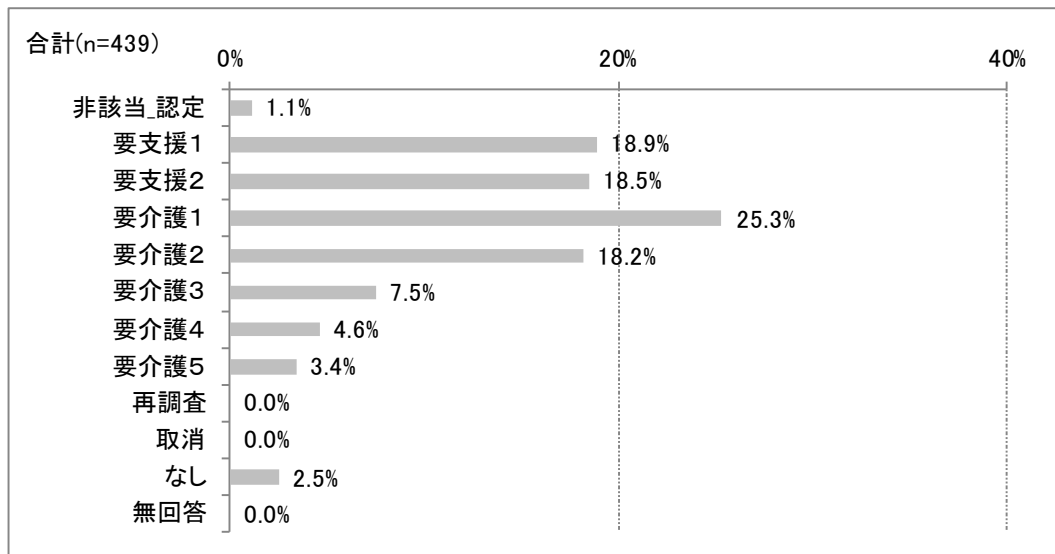
#### 【世帯類型別】

- 「単身世帯」「夫婦のみ世帯」では「要支援1・2」の割合が最も高くなっています。
- 「要介護3以上」は、「夫婦のみ世帯」「その他」で「単身世帯」より高くなっています。

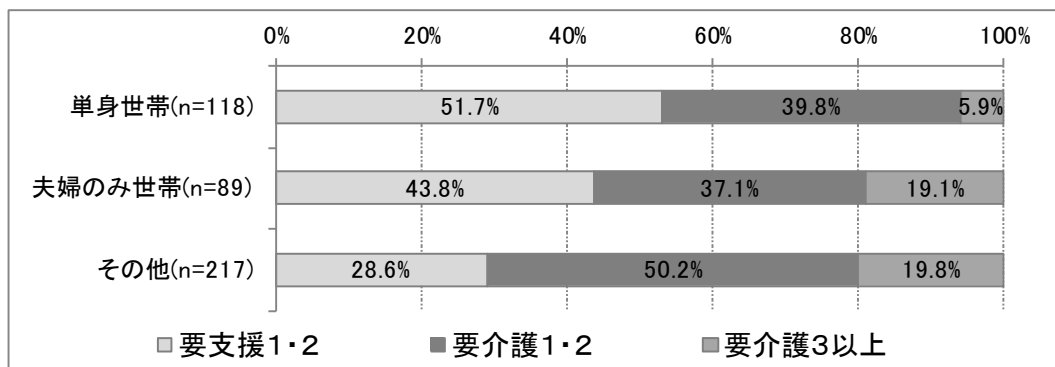
#### 【介護者の就労状況別】

- 「フルタイム勤務」では「要支援1・2」「要介護1」が34.3%と最も割合が高くなっています。
- 「パートタイム勤務」では、要介護3以上が21.0%と他の区分に比べて高くなっています。

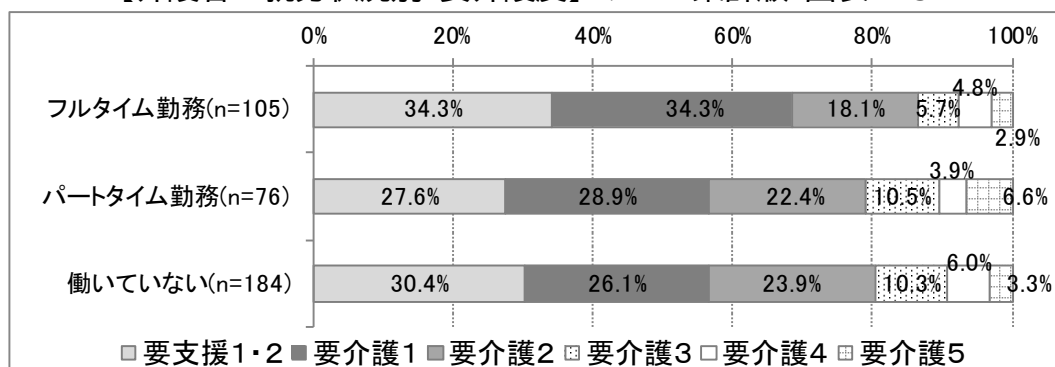
【二次判定結果】単純集計版 図表3-3



【世帯類型別・要介護度】クロス集計版 図表4-2



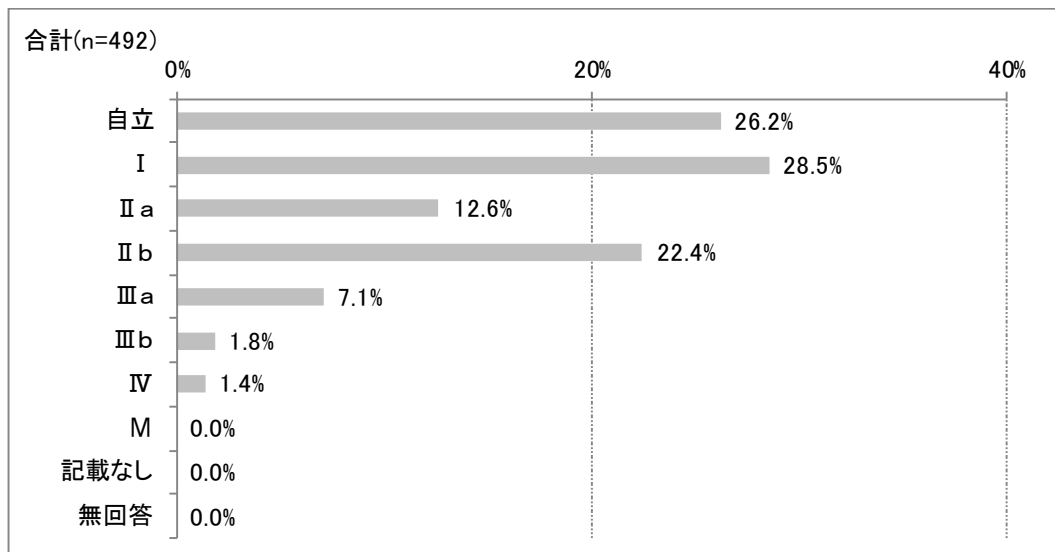
【介護者の就労状況別・要介護度】クロス集計版 図表2-5



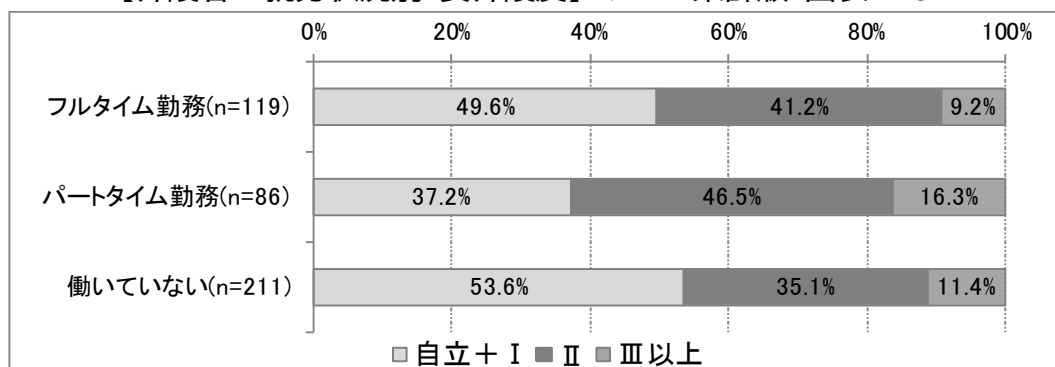
#### (4) 認知的日常生活自立度

- 【全体】**
- 「I」の割合が最も高く 28.5%となっています。次いで、「自立(26.2%)」、「II b (22.4%)」となっています。
- 【介護者の就労状況別】**
- 「パートタイム勤務」では「II」が 46.5%と最も割合が高く、II以上が 62.8%と他の区分に比べて高くなっています。
  - 「フルタイム勤務」では「自立+ I」が 49.6%と最も割合が高くなっています。
  - 「働いていない」では「自立+ I」が 53.6%と他の区分に比べて高くなっています。

【認知症高齢者の日常生活自立度】 単純集計版 図表3-9



【介護者の就労状況別・要介護度】 クロス集計版 図表2-6



【参考】認知症高齢者の日常生活自立度判定基準

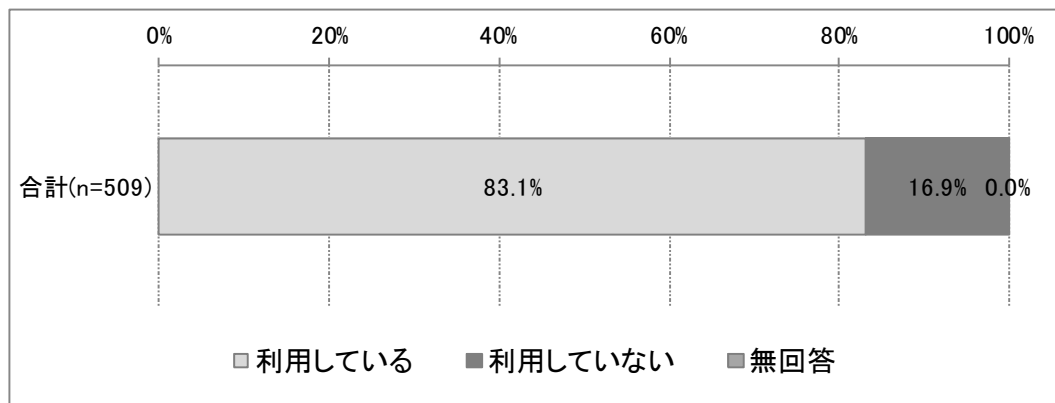
ランク	判定基準
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
II a	家庭外で、日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
II b	家庭内でも、日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
III a	日中を中心として、日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。
III b	夜間を中心として、日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。
IV	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

# 介護保険サービス等

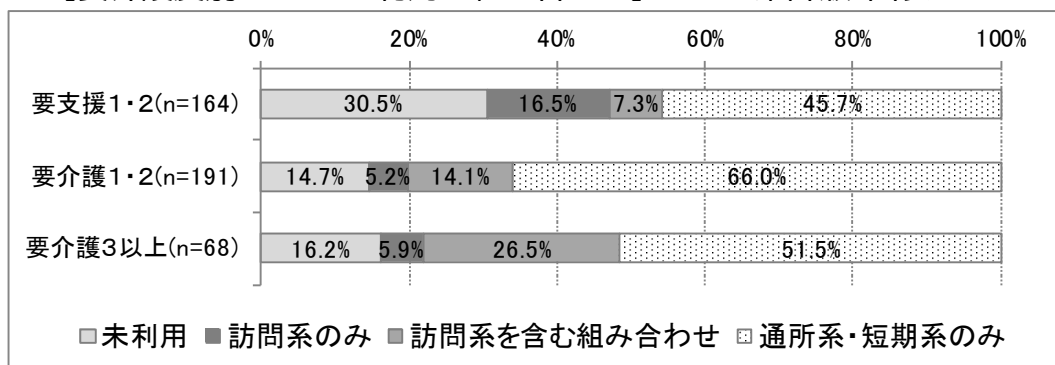
## (1) 介護保険サービスの利用状況

- 【全体】**
- 介護保険サービスの利用について、「利用している」が 83.1%、「利用していない」が 16.9%となっています。
- 【要介護度別】**
- 重度化に従って「訪問系を含む組み合わせ」の割合が高くなっています。
  - 「要介護1・2」では「通所系・短期系のみ」が 66.0%と他の区分に比べて高くなっています。
  - 「要支援1・2」では「未利用」が 30.5%と他の区分に比べて高くなっています。
- 【認知症自立度別】**
- 重度化に従って「訪問系を含む組み合わせ」の割合が高くなっています。
  - 「Ⅱ」では「通所系・短期系のみ」が 65.7%と他の区分に比べて高くなっています。
  - 「自立+Ⅰ」では「未利用」が 28.3%と他の区分に比べて高くなっています。

【介護保険サービスの利用の有無】 単純集計版 図表1-13

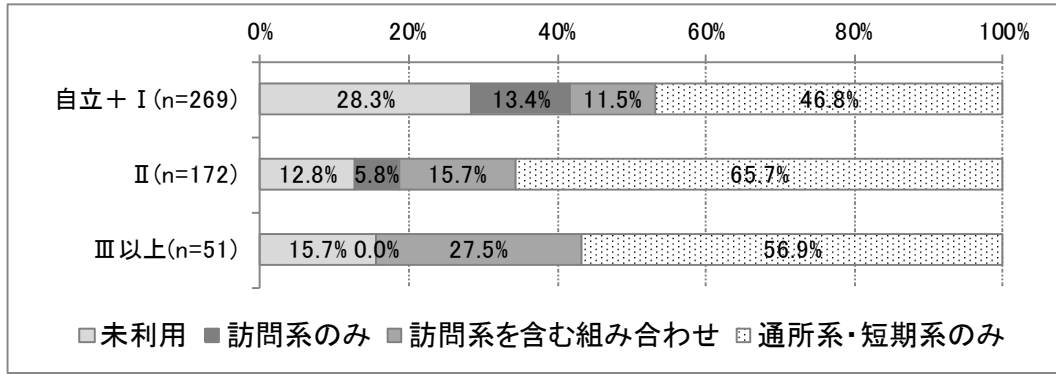


【要介護度別・サービス利用の組み合わせ】 クロス集計版 図表1-8





【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ】 クロス集計版 図表1-9



## (2) 要介護度別・世帯類型別のサービス利用の組み合わせ

### 【全体】

- 要介護度別・世帯類型別のサービスの利用の組み合わせについて、いずれの世帯類型も重度化に従って「訪問系を含む組み合わせ」の割合が高い傾向がみられます。

### 【単身世帯】

- いずれの要介護度も「訪問系のみ」「訪問系を含む組み合わせ」を合わせた割合が他の世帯類型に比べて高くなっています。

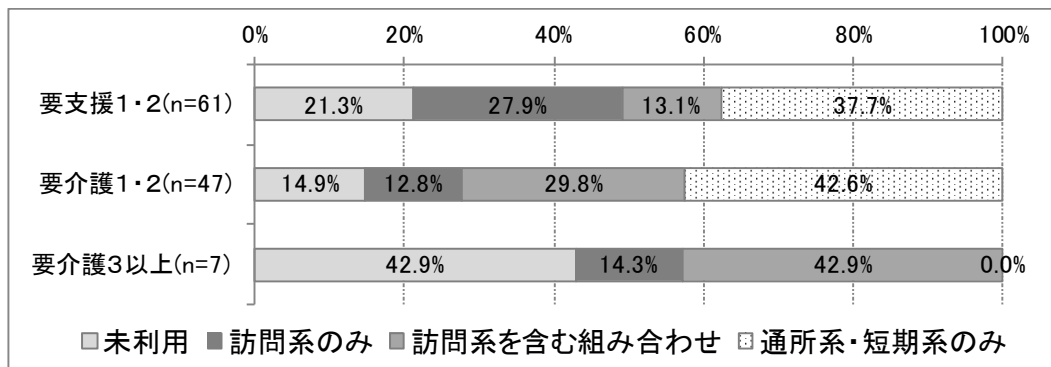
### 【夫婦のみ世帯】

- 「要支援1・2」では「未利用」が51.3%と他の区分に比べて高くなっています。

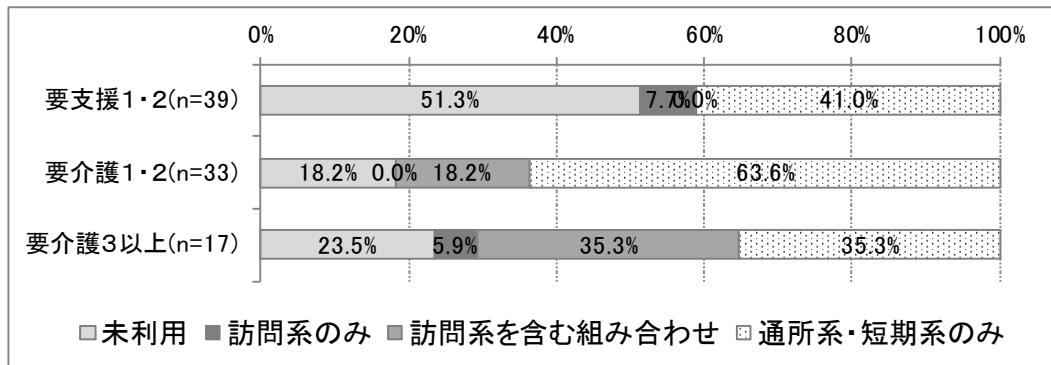
### 【その他世帯】

- いずれの要介護度も「通所系・短期系のみ」の割合が他の世帯類型に比べて高くなっています。

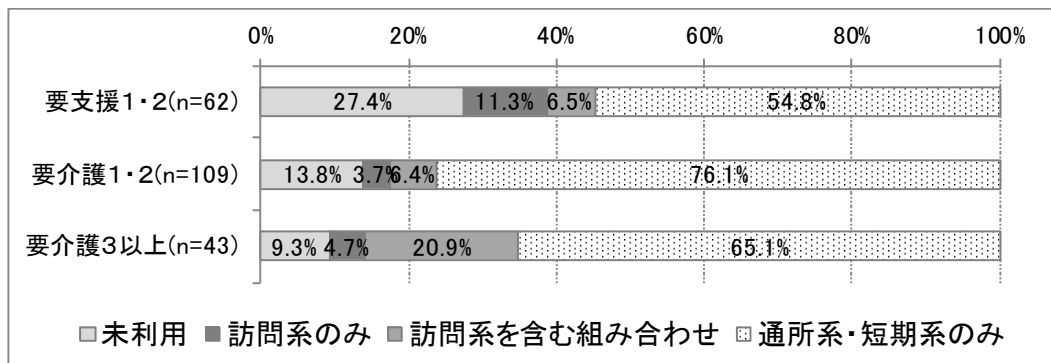
【要介護度別・サービス利用の組み合わせ(単身世帯)】 クロス集計版 図表4-7



【要介護度別・サービス利用の組み合わせ(夫婦のみ世帯)】 クロス集計版 図表4-8



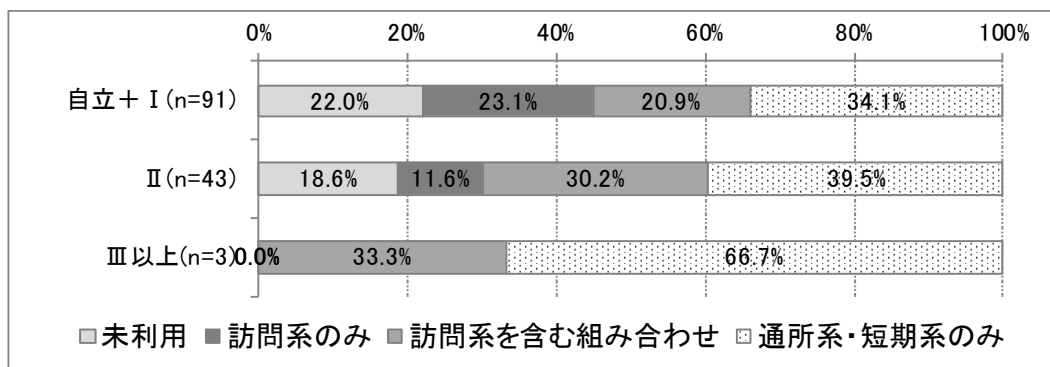
【要介護度別・サービス利用の組み合わせ(その他世帯)】 クロス集計版 図表4-9



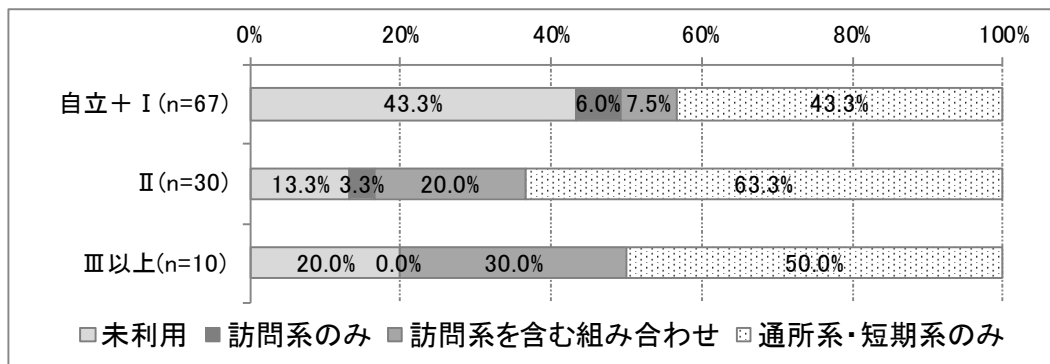
### (3) 認知症自立度別・世帯類型別のサービス利用の組み合わせ

- 【全体】
- 認知症自立度別・世帯類型別のサービスの利用の組み合わせについて、いずれの世帯類型も重度化に従って「訪問系を含む組み合わせ」の割合が高い傾向がみられます。
- 【単身世帯】
- 「自立+ I」「II」では「訪問系のみ」「訪問系を含む組み合わせ」を合わせた割合が他の世帯類型に比べて高くなっています。
- 【夫婦のみ世帯】
- 「自立+ I」では「未利用」が43.3%と他の区分に比べて高くなっています。
- 【その他世帯】
- 「自立+ I」「II」では「通所系・短期系のみ」の割合が他の世帯類型に比べて高くなっています。

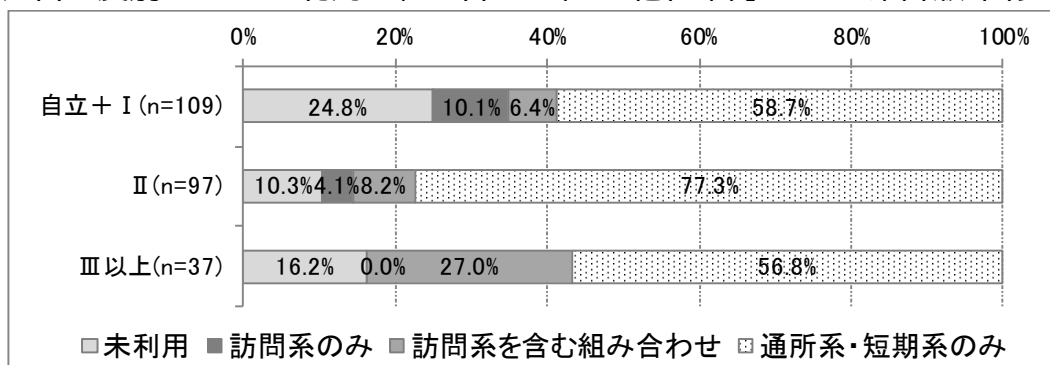
【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ(単身世帯)】 クロス集計版 図表4-10



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ(夫婦のみ世帯)】 クロス集計版 図表4-11



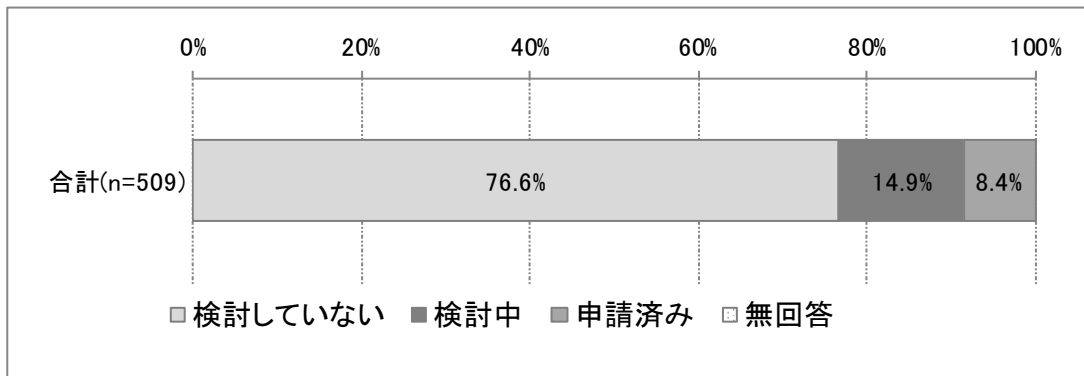
【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ(その他世帯)】 クロス集計版 図表4-12



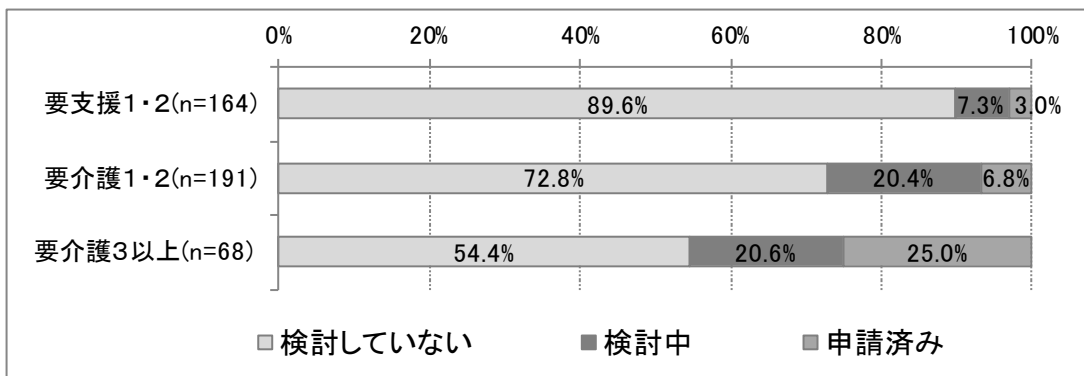
#### (4) 施設等への入所・入居の検討状況

- 【全体】**  
 ○ 施設等への入所・入居の検討状況について、「検討していない」の割合が最も高く76.6%となっています。次いで、「検討中(14.9%)」、「申請済み(8.4%)」となっています。
- 【要介護度別】**  
 ○ 重度化に従って「検討中」「申請済み」の割合が高い傾向がみられます。
- 【世帯類型別】**  
 ○ 単身世帯では「検討中」「申請済み」の割合が他の区分に比べて高くなっています。

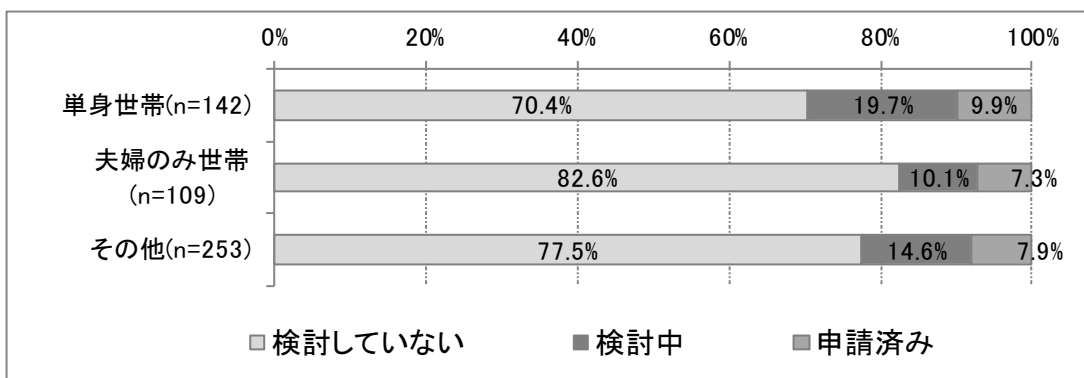
【施設等検討の状況】 クロス集計版 図表1-1



【要介護度別・施設等検討の状況】 クロス集計版 図表1-2



【世帯類型別・施設等検討の状況】 クロス集計版 図表1-3



## (5) 要介護度別・世帯類型別の施設等への入所・入居の検討状況

### 【全体】

- 要介護度別・世帯類型別の施設等への入所・入居の検討状況について、夫婦のみ世帯、その他世帯では重度化に従って「検討中」「申請済み」の割合が高い傾向がみられます。単身世帯では「要介護1・2」で「検討中」「申請済み」の割合が高くなっています。

### 【単身世帯】

- 「要介護1・2」では「検討中」が31.9%と他の区分に比べて高くなっています。

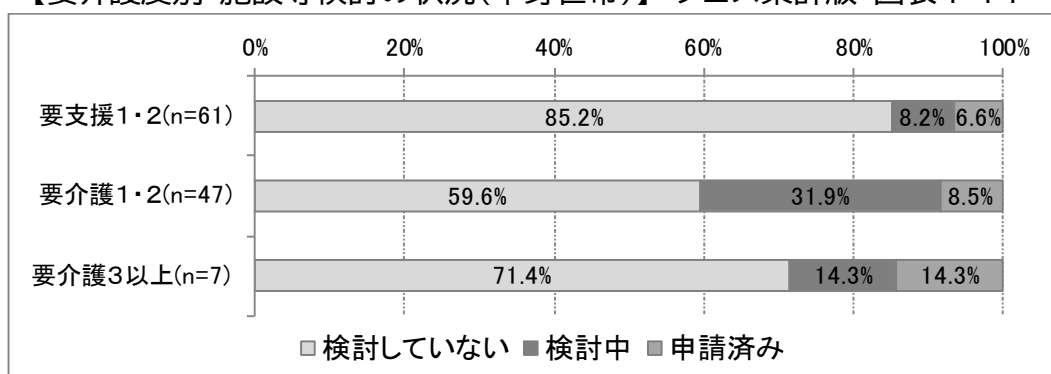
### 【夫婦のみ世帯】

- 「要介護3以上」では「検討中」「申請済み」が合わせて41.1%となっています。

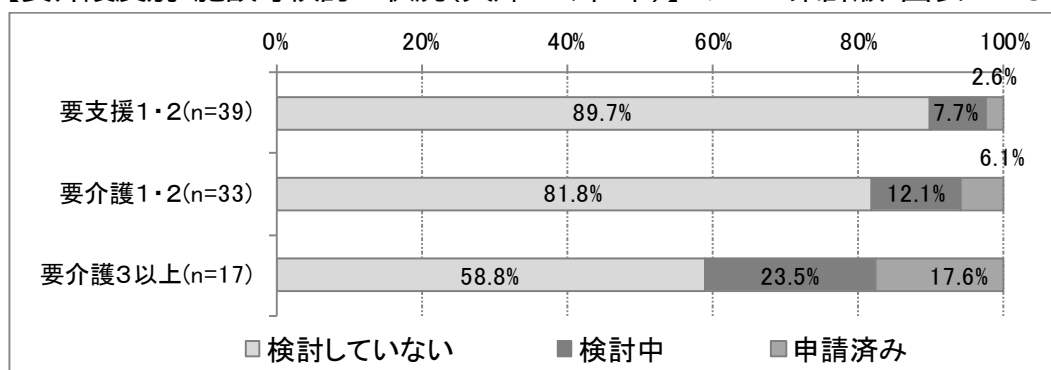
### 【その他世帯】

- 「要介護3以上」では「検討中」「申請済み」が合わせて48.8%となっています。

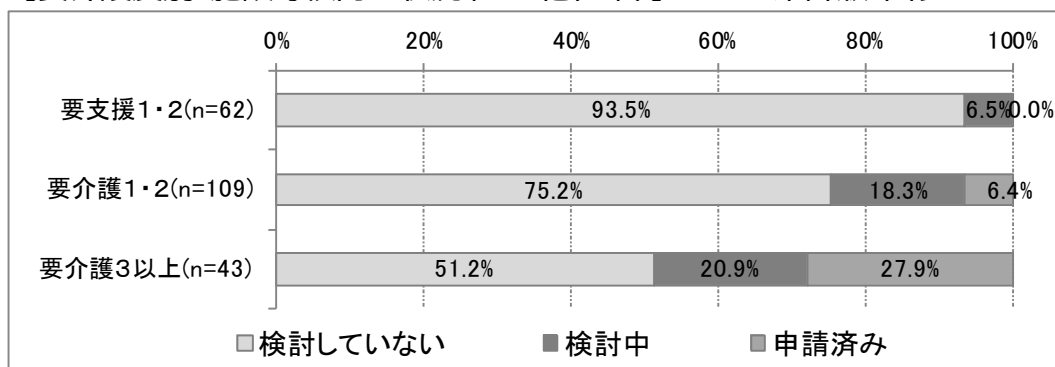
【要介護度別・施設等検討の状況(単身世帯)】 クロス集計版 図表4-14



【要介護度別・施設等検討の状況(夫婦のみ世帯)】 クロス集計版 図表4-15



【要介護度別・施設等検討の状況(その他世帯)】 クロス集計版 図表4-16



## (6) 認知症自立度別・世帯類型別の施設等への入所・入居の検討状況

### 【全体】

- 認知症自立度別・世帯類型別の施設等への入所・入居の検討状況について、夫婦のみ世帯、その他世帯では重度化に従って「検討中」「申請済み」の割合が高い傾向がみられます。単身世帯では「Ⅱ」で「検討中」「申請済み」の割合が高くなっています。

### 【単身世帯】

- 「Ⅱ」では「検討中」が32.6%と他の区分に比べて高くなっています。

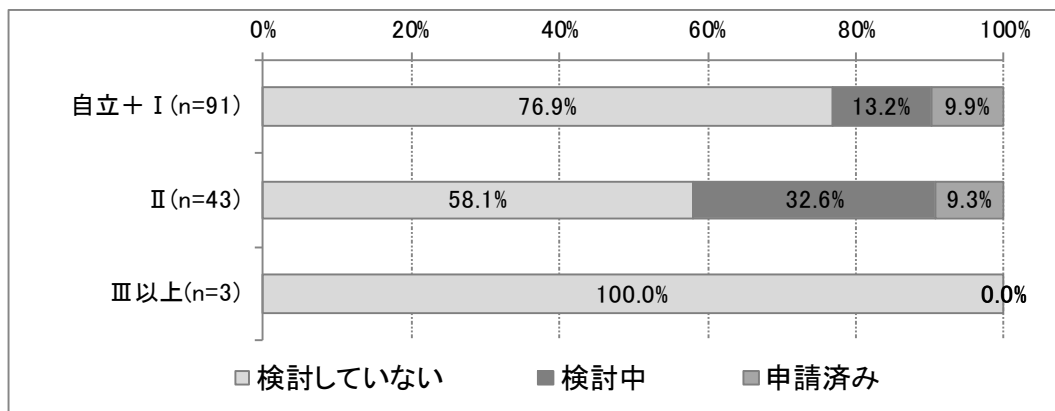
### 【夫婦のみ世帯】

- 「Ⅲ以上」では「検討中」「申請済み」が合わせて30.0%となっています。

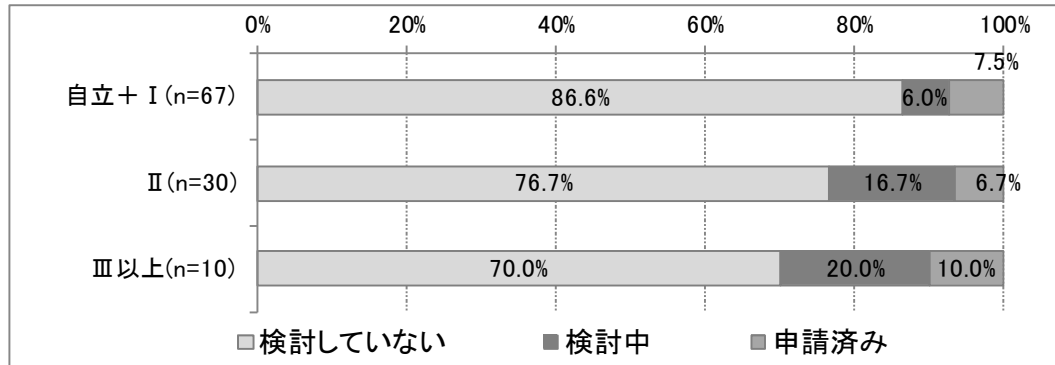
### 【その他世帯】

- 「要介護3以上」では「検討中」「申請済み」が合わせて56.7%となっています。

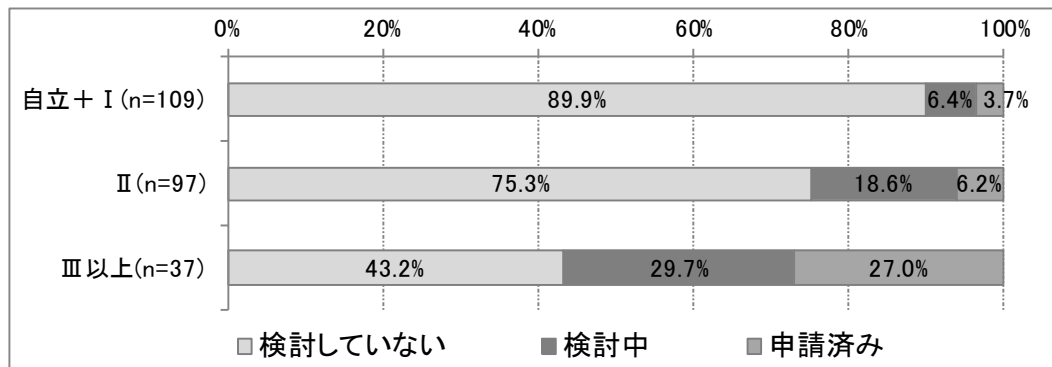
【認知症自立度別・施設等検討の状況(単身世帯)】 クロス集計版 図表4-17



【認知症自立度別・施設等検討の状況(夫婦のみ世帯)】 クロス集計版 図表4-18



【認知症自立度別・施設等検討の状況(その他世帯)】 クロス集計版 図表4-19

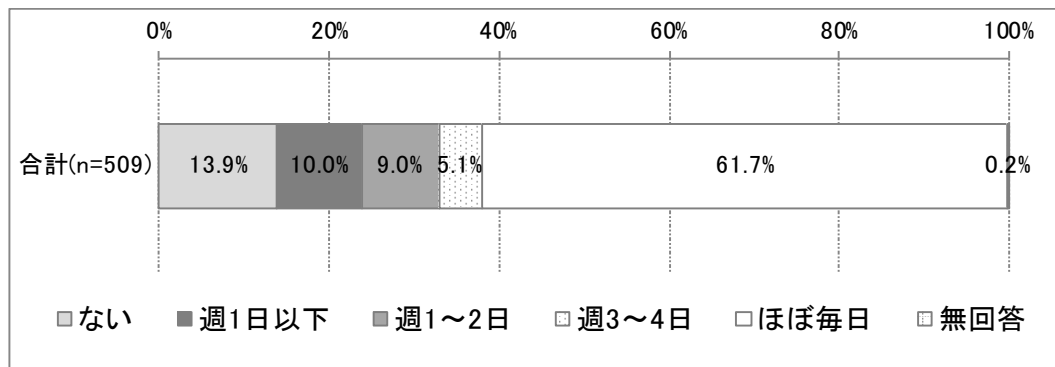


# 介護者の状況

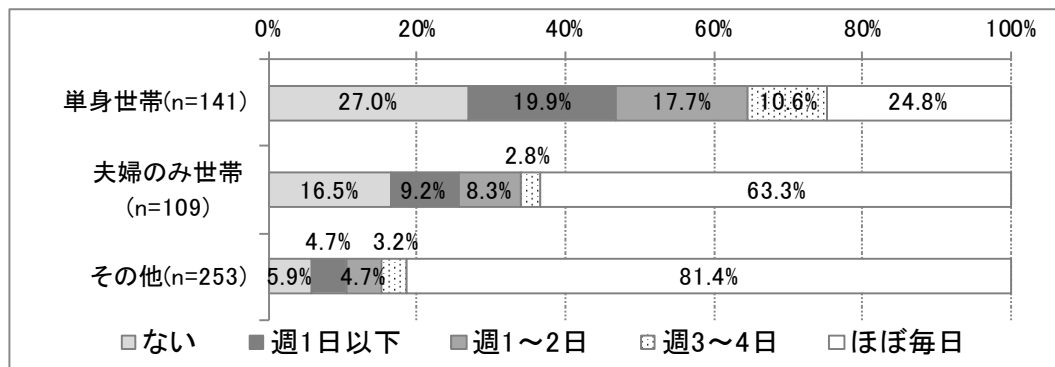
## (1) 家族・親族による介護の頻度

- 【全体】**  
 ○ 家族・親族による介護(同居していない子ども・親族等の介護を含む)の頻度について、「ほぼ毎日」の割合が最も高く61.7%となっています。次いで、「ない(13.9%)」、「週1日以下(10.0%)」となっています。
- 【世帯類型別】**  
 ○ 「単身世帯」では「ない」の割合が最も高く 27.0%となっています。次いで、「ほぼ毎日(24.8%)」、「週1日以下(19.9%)」となっています。
- 【就労状況別】**  
 ○ 「フルタイム勤務」では「ほぼ毎日」が58.2%と他の区分に比べて低くなっています。

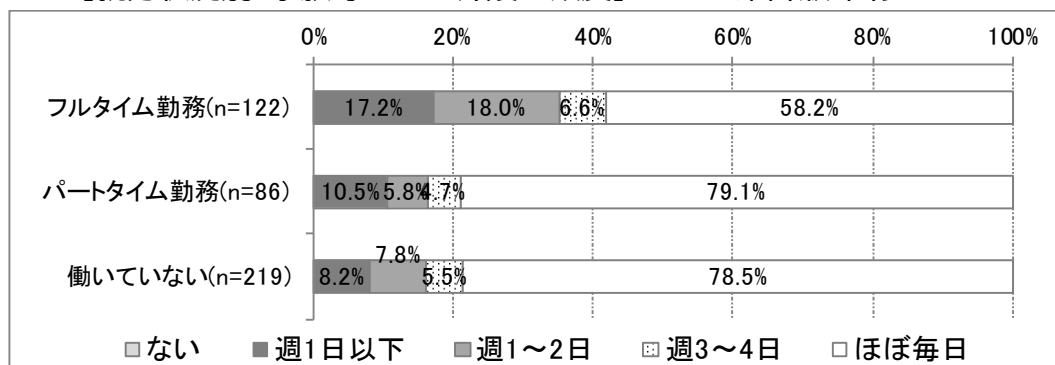
【家族等による介護の頻度】単純集計版 図表1-2



【世帯類型別・家族等による介護の頻度】クロス集計版 図表4-3



【就労状況別・家族等による介護の頻度】クロス集計版 図表2-7





## (2) 要介護度別・世帯類型別の家族・親族による介護の頻度

### 【全体】

- 要介護度別・世帯類型別の家族・親族による介護の頻度について、夫婦のみ世帯、その他世帯では、要介護1・2以上で「ほぼ毎日」の割合が80%を超えています。単身世帯では、重度化に従って「ほぼ毎日」の割合が高い傾向がみられます。

### 【単身世帯】

- 「要支援1・2」では「ない」が42.6%と他の区分に比べて高くなっています。

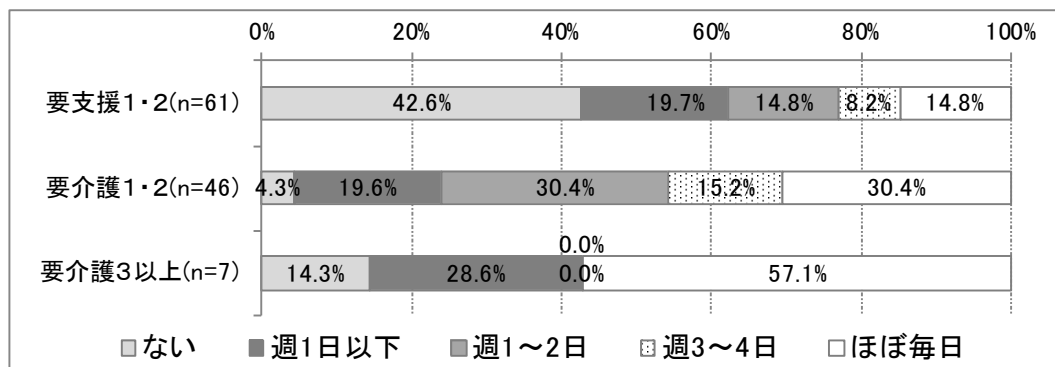
### 【夫婦のみ世帯】

- 「要支援1・2」では「ほぼ毎日」が38.5%と他の区分に比べて低くなっています。

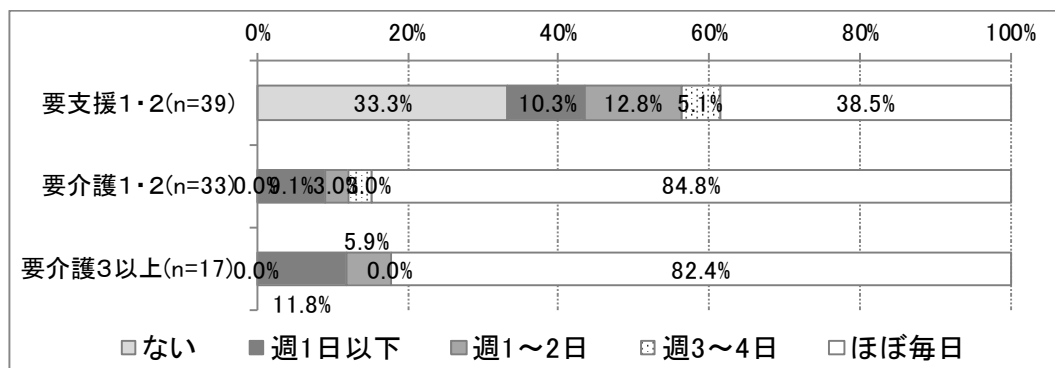
### 【その他世帯】

- 「要支援1・2」では「ほぼ毎日」が51.6%と他の区分に比べて低くなっています。

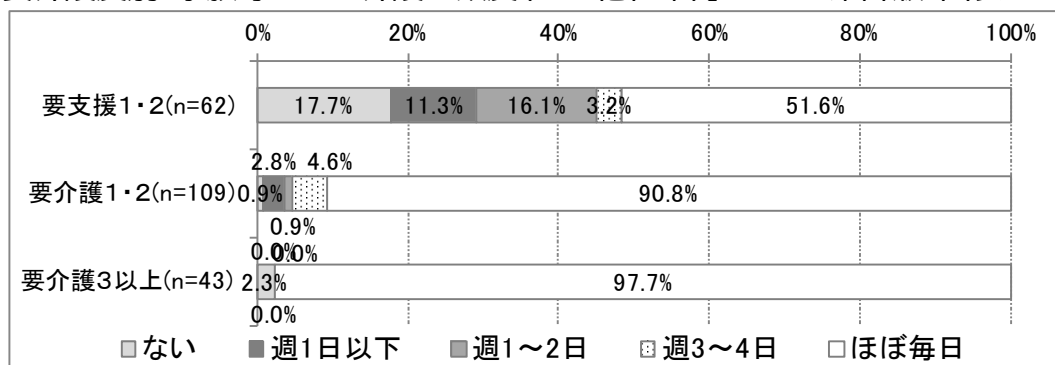
【要介護度別・家族等による介護の頻度(単身世帯)】 クロス集計版 図表4-4



【要介護度別・家族等による介護の頻度(夫婦のみ世帯)】 クロス集計版 図表4-5



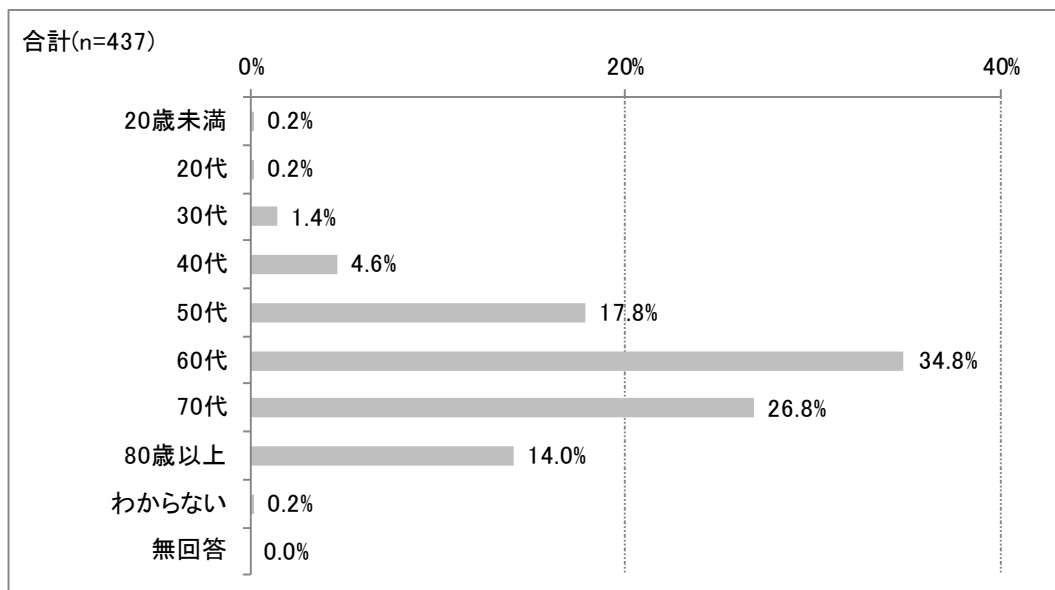
【要介護度別・家族等による介護の頻度(その他世帯)】 クロス集計版 図表4-6



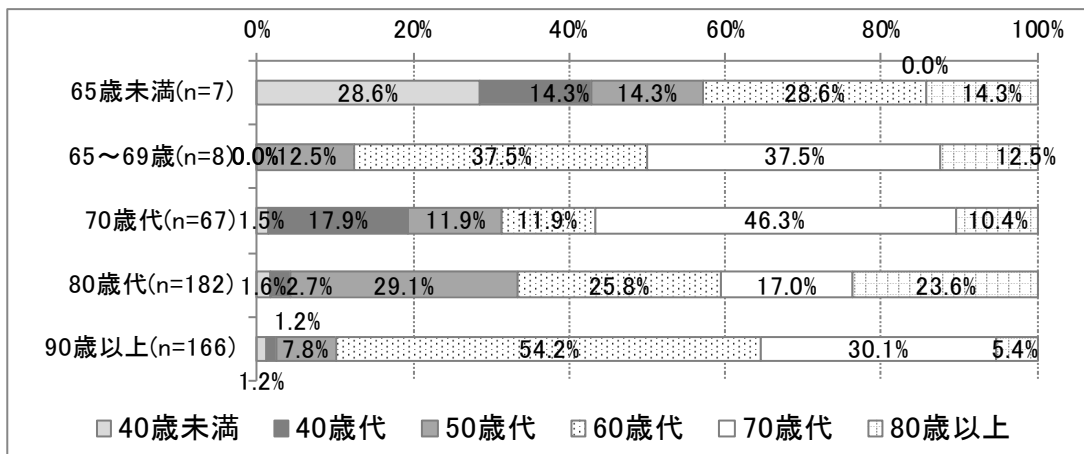
### (3) 主な介護者の年齢・性別

- 【全体】
- 主な介護者の年齢について、「60代」の割合が最も高く 34.8%となっています。次いで、「70代(26.8%)」、「50代(17.8%)」となっています。
- 【本人の年齢別】
- 65歳未満では、主な介護者が「40歳未満」が 28.6%と他の区分に比べて高くなっています。
  - 65～69歳、70歳代では、主な介護者が60歳以上の割合が60%を超えており、特に65～69歳、90歳以上では約90%となっています。
  - 80歳代では、主な介護者が「50歳代」が 29.1%と他の区分に比べて高くなっています。

【主な介護者の年齢】 単純集計版 図表1-5

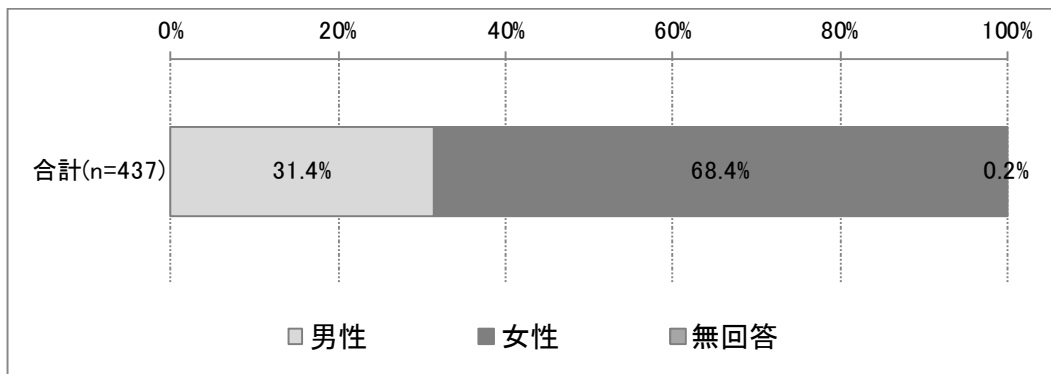


【本人の年齢別・主な介護者の年齢】 クロス集計版 図表6-13



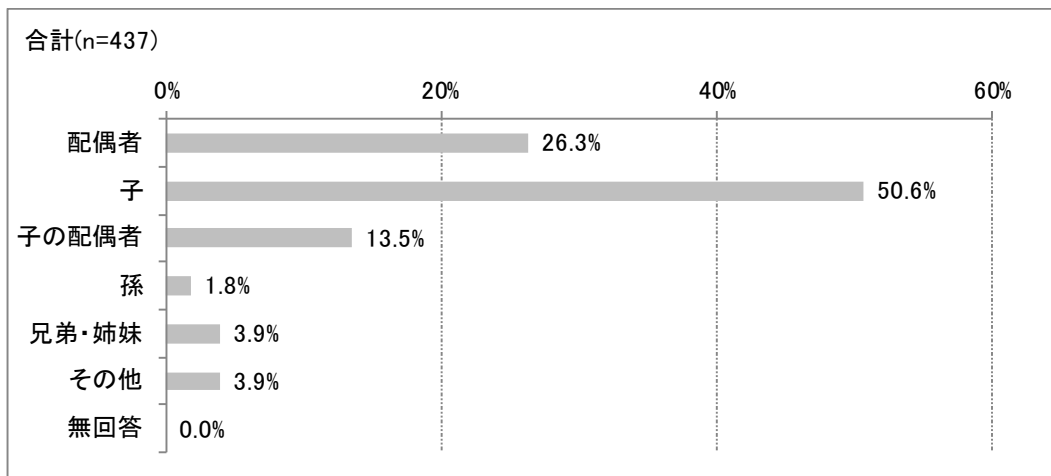
○ 主な介護者の性別について、「女性」が 68.4%、「男性」が 31.4%となっています。

【主な介護者の性別】 単純集計版 図表1-4



○ 主な介護者の本人との関係について、「子」の割合が最も高く 50.6%となっています。次いで、「配偶者(26.3%)」、「子の配偶者(13.5%)」となっています。

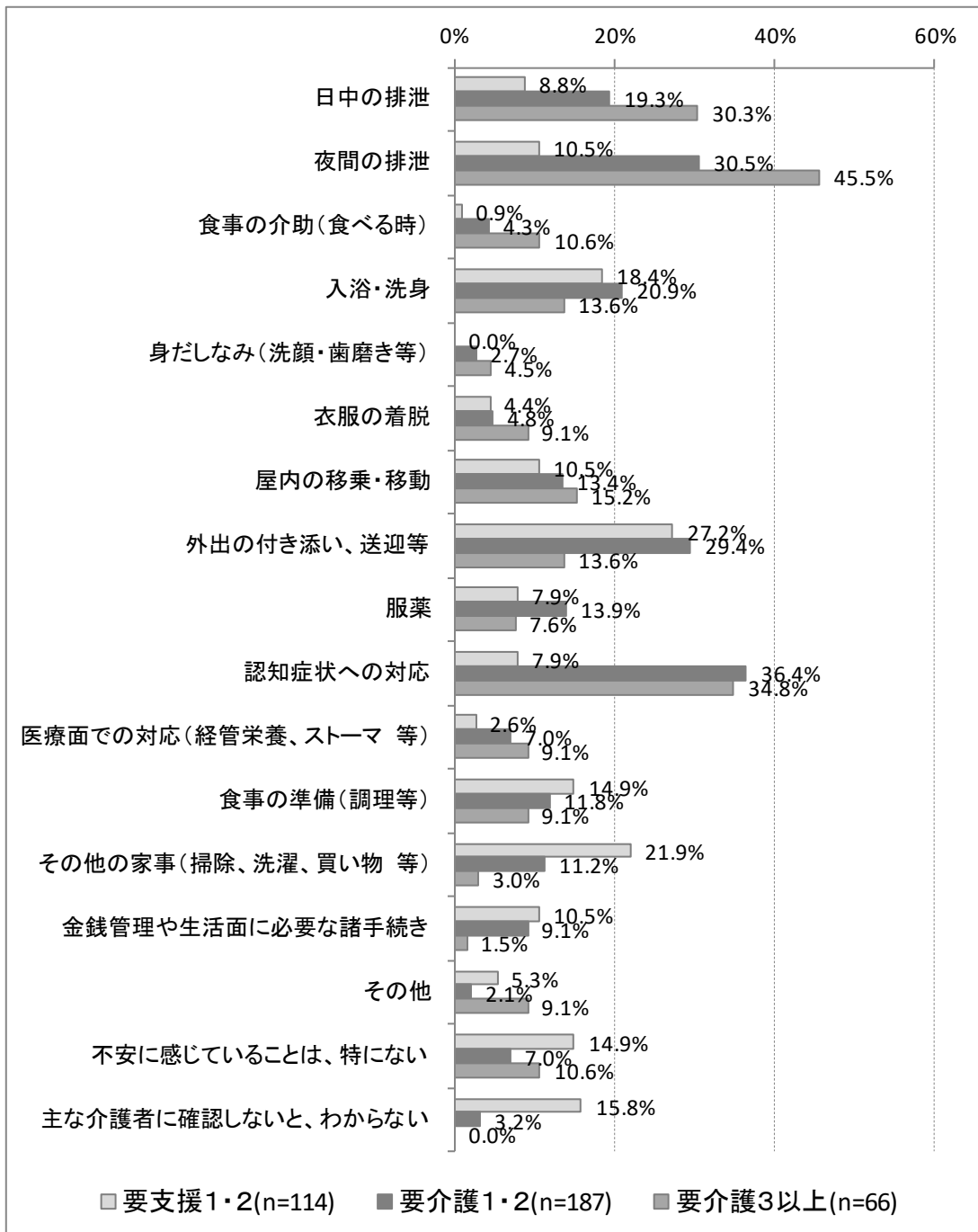
【主な介護者の本人との関係】 単純集計版 図表1-3



#### (4) 主な介護者が不安に感じる介護

- 主な介護者が不安に感じる介護と要介護度の関係について、「要支援1・2」では「外出の付き添い、送迎等」がもっとも割合が高く、「要介護1・2」以上では「認知症状への対応」、「夜間の排泄」の割合が高くなっています。

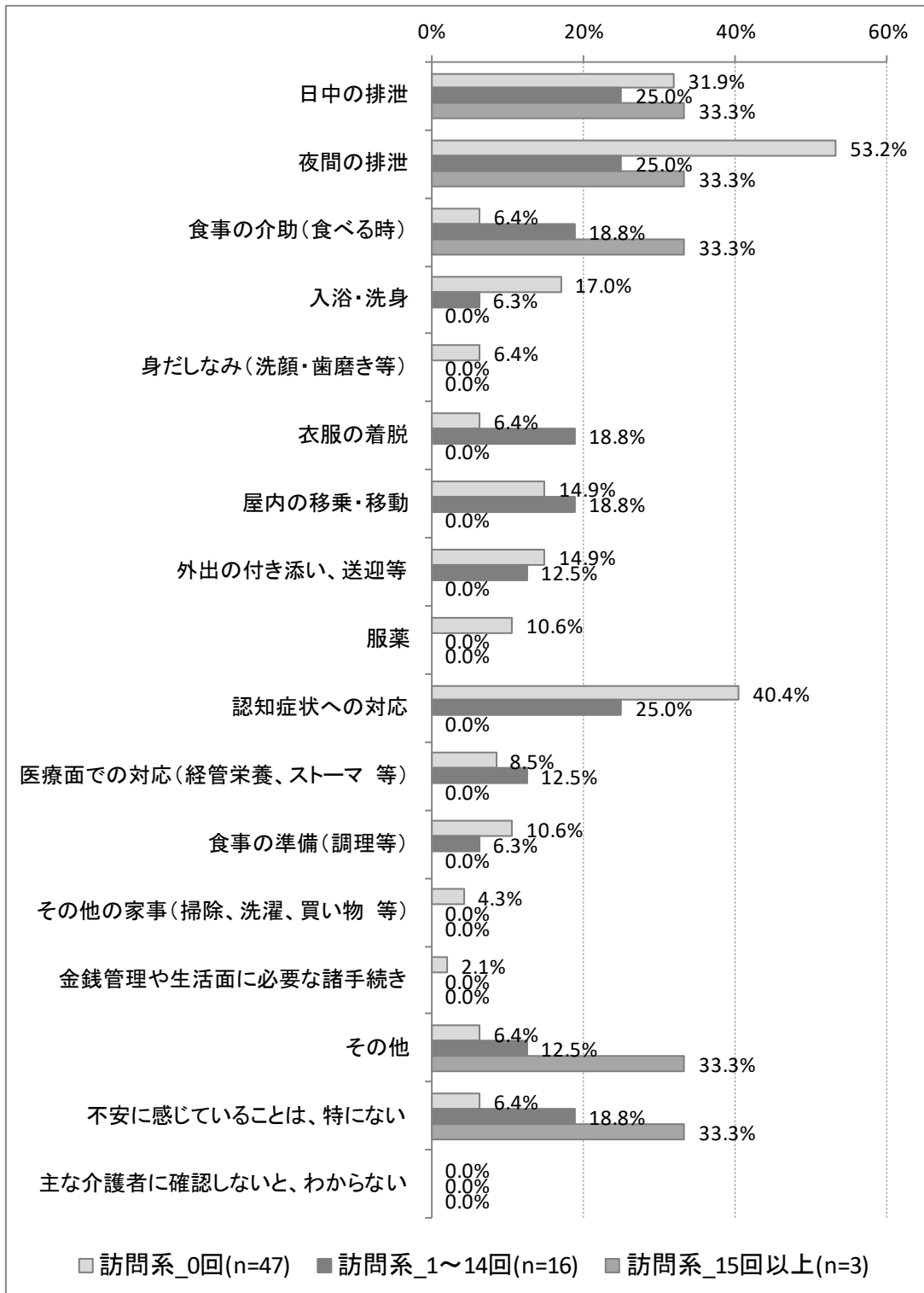
【要介護度別・介護者が不安に感じる介護】 クロス集計版 図表 1-4



○ 主な介護者の不安を感じる介護と訪問系の利用回数の関係について、利用回数の増加に伴い、「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が軽減する傾向がみられました。

【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(訪問系、要介護3以上)】

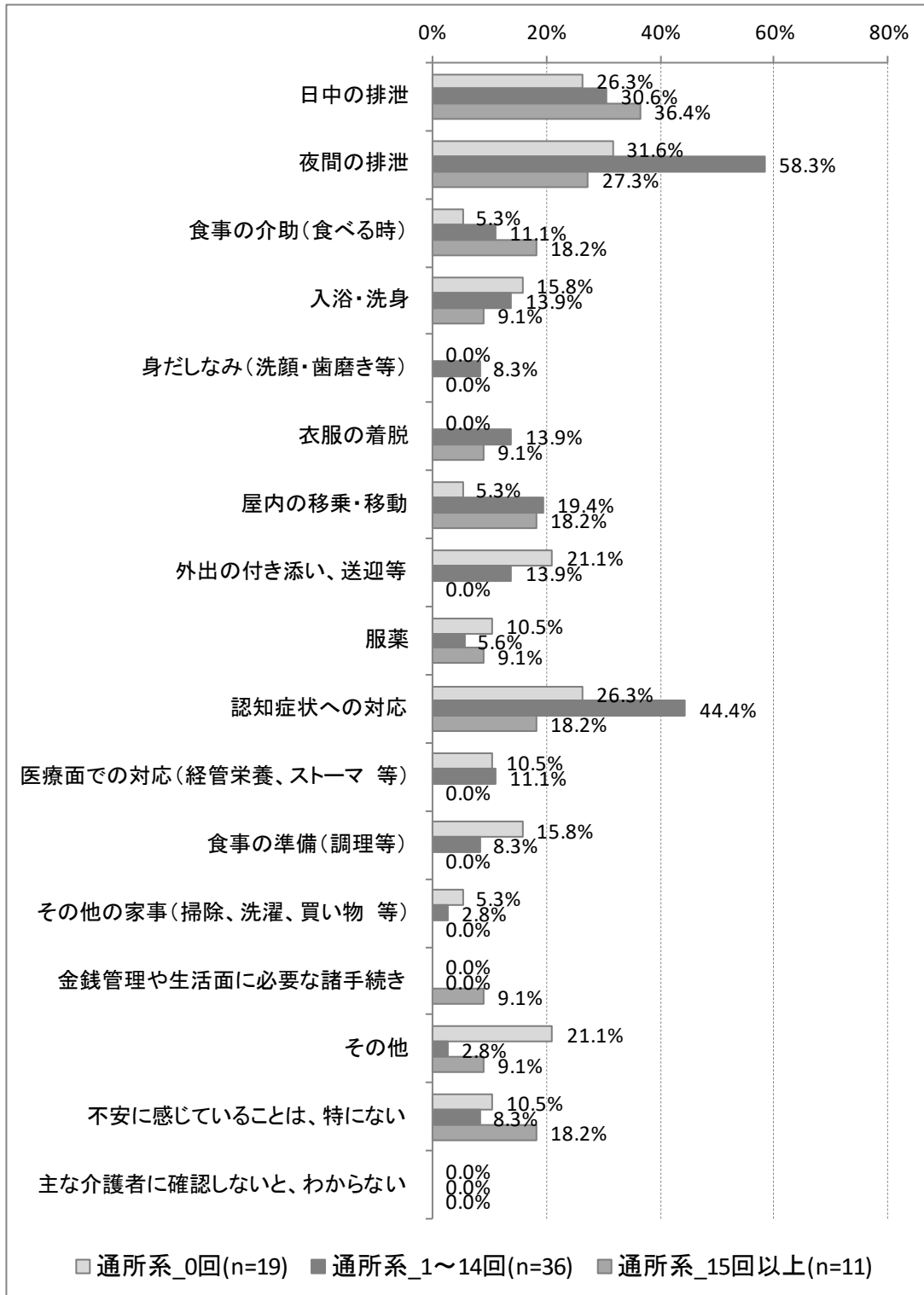
クロス集計版 図表 1-24



○ 主な介護者が不安を感じる介護と通所系の利用回数の関係について、利用回数とともに「入浴・洗身」、「食事の準備(調理等)」が軽減する傾向がみられました。

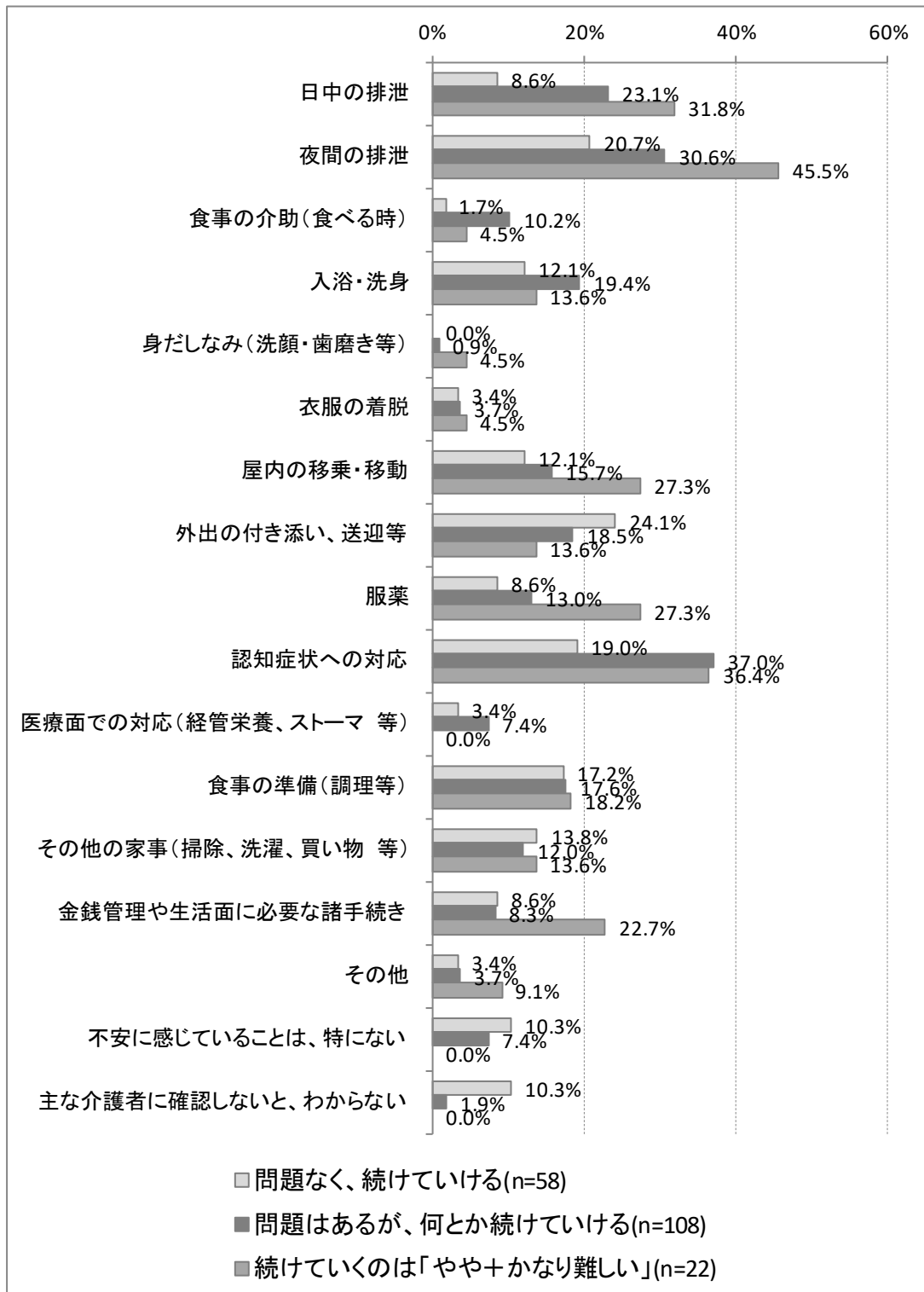
【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(通所系、要介護3以上)】

クロス集計版 図表 1-26



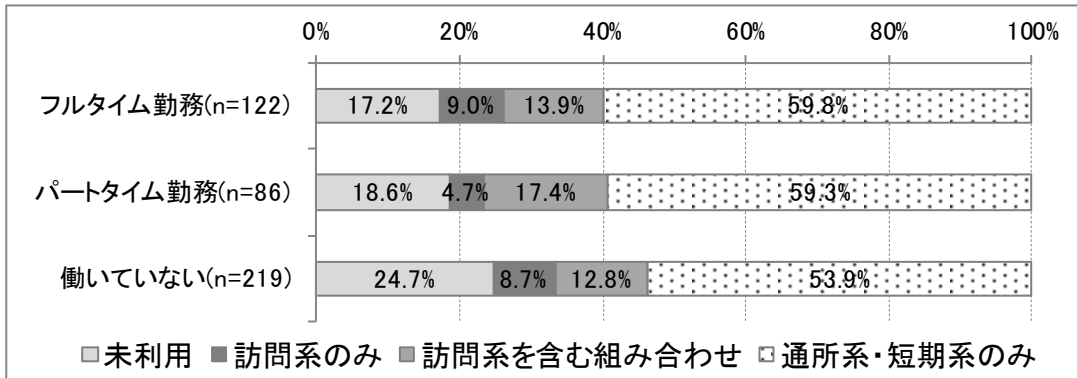
○ 主な介護者が不安に感じる介護を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題はありますが、何とか続けていける」、「続けていくのは「やや+かなり難しい」とする人では、「認知症状への対応」、「夜間の排泄」、「日中の排泄」の割合が高くなっています。

【就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護(フルタイム勤務+パートタイム勤務)】  
クロス集計版 図表 2-15



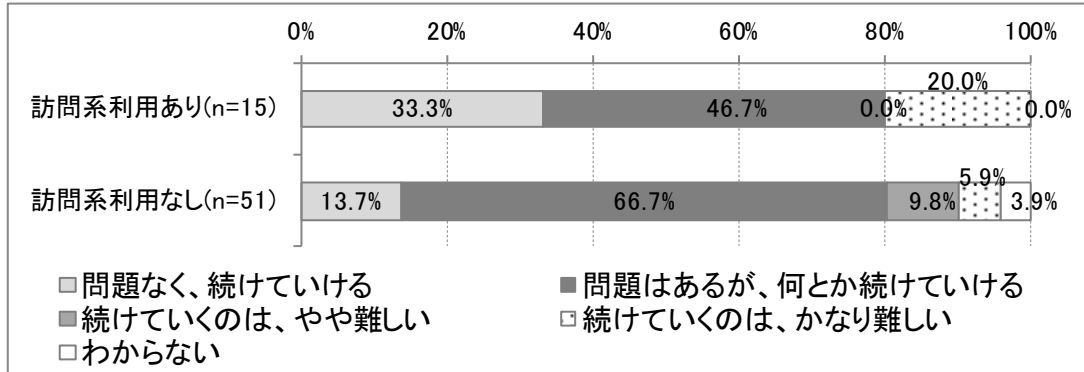
- サービス利用の組み合わせを介護者の勤務形態別にみると、すべての形態で「通所系・短期系のみ」の割合が高くなっています。

【就労状況別・サービス利用の組み合わせ】クロス集計版 図表 2-16



介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では「問題なく、続けていける」の割合が高くなっています。

サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)】クロス集計版 図表 2-17





- 主な介護者の働き方の調整の状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「特に行っていない」が 60.3%と最も割合が高いが、「問題はあるが、何とか続けていける」、「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」の割合が高くなっています。

【就労継続見込み別・介護のための働き方の調整(フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

クロス集計版 図表 2-24

